

1	<p>どの子ども達と選ぶことができないほど、関わった子ども達は全て心に残り、全員可愛いと思っただけなのですが、特に1年生の入学して校舎の右も左も分からなかった子ども達が、6年生になり逞しくなり運動会で活躍する姿を見た時には、感動でこちらが嬉しくなりました。</p> <p>できないことが沢山あったとしても、必ずできると教師側は諦めてはいけな、日々は決して無駄ではないと思えた瞬間でした。</p>	2	<p>「大切にしていることは、祖母から教えてもらった生活に関する『当たり前』のことです。」と話す女の子。周囲への気配りが、人の心を温かくする子です。</p>	3	<p>2年前、学校現場からセンターに異動になりました。オリエンテーリングにカレー作りやキャンプファイヤなど楽しく協力し主体的にセンターの大自然の中で活動する子どもたち。教室での学びにICTも大切ですが、体験活動や直接体験の良さを改めて日々感じています。</p>	4	<p>30年前粘土遊びをしていることもがドラえもん体型の私を見て「先生もこうやってコロコロしたら背が高くなるのに」とアドバイスをくれました。</p>
5	<p>3年間ケンカやトラブルが耐えない子たちでしたが、卒業時には進路を決め、立派に巣立って行った、初めて3年間関わった子たちのことです。</p>	6	<p>6年生を担任することが多かったので結構毎年の子どもたちそれぞれに心に残る思い出があります。</p>	7	<p>コロナ禍でも学期に一回の研究授業を進めています。6時間目に他のクラスを下校させて行うのではなく、3時間目などに設定しています。他のクラスは自習をしますが、静かに自習ができ成立しています。</p> <p>先生たちは、学年に1人の自習監督以外は、全員が研究授業を参観します。子どもたちに、研究授業、自習をキーワードにインタビューすると、「先生たちが勉強のためにしていることだから、自分達が静かに自習することが大事だと思う」と答えてくれるようになりました。生徒も先生も成長していることがみてとれます。</p>	8	<p>どの子にも心に残る場面が多かれ少なかれありました。一つ選ぶのはとても難しいですね。私は卒業生を送り出す時、必ず握手をしてみました。だから私の手には一人一人の手の温もりが残っています。</p>
9	<p>運動会で必死にソーラン節を演技する子どもたち。</p>	10	<p>学校に来づらい生徒が体育大会の練習から少しずつ来だして、当日はクラスみんなと協力して参加できたこと。</p>	11	<p>給食にお鍋給食をリクエストしてくれて、卒業前にお鍋給食をたべてもらった、ゆかいな6年生。</p>	12	<p>今まで担任をした子どもたちは500人を越えますが、どの子も透き通ったところを持っていました。今でも大きくなった教え子たちの訪問に元気をもらっています。</p>
13	<p>最初の赴任地が僻地の中学校でした。純朴な子どもたちが思い出されます。</p>	14	<p>小学5年生、6年生と持ち上がりで担任した学年の子ども達。5年生のときも6年生のときもクラス全員で担任の私にサプライズのお手紙をくれました。卒業した後も職場に会いに来てくれたり年賀状を送ってくれたり交流が続いており子どもたちの成長(なんともう高校生！)がとても嬉しいです。自分にとっては初めての卒業生だったので、とても思い入れのある学年です。やんちゃな子や様々な課題を抱えた子もいましたが、子どもたちと一緒にたくさんのかたちを乗り越えながら迎えた卒業式の日の、あの晴れやかな気持ちは一生忘れないと思います！</p>	15	<p>障害があるないに関わらず、子どもが持つパワーと優しさについていつも励まされます。</p>	16	<p>成人したらまた会おうと約束した、初めて受け持ったクラスの子。</p>

17	先日2022年1月の出来事です。授業をする前に授業で使う物の準備を自分のクラスの生徒が率先して手伝ってくれました。準備してほしいと何も言っていなかったのにも関わらず学年合同授業で人数がいつもより多いのに消極的な男子生徒が前に出てきてくれたことがすごく嬉しかったです。生徒の優しさに心がとても癒され満たされました。この仕事をやってよかったと思う出来事の一つになりました！	18	卒業式の日に先生と出会えて良かった。と手紙をくれた生徒が心に残っています。	19	退職後 臨時講師で勤めてます。子どもたちの第一声(おばちゃんみたいやけど、先生?けど、一緒に頑張ろ)って言ってもらいました	20	朝、私に出会ったらいつも挨拶をしてくれます。私も元氣よく挨拶をします。と1日楽しく過ごせませす。子どもたちに感謝しています。
21	年度終わりに先生は来年もいてくれますか？異動はないですか？と子どもたちが確認しに来てくれたこと。	22	毎日一日も休まず部活をがんばり、体育大会の徒競走でも、勝てなかったのに、三年の県大会100mで入賞した。	23	毎年出会うすべての子どもたちが心に残ります。今現在であれば、コロナ禍で不便・不自由なことが多い中でも、日常の学校生活や学校行事などを、工夫しながら共に作り上げている子どもたちです。	24	六年生を担当した時、スポーツが得意な子でしたが、白血病を発症し、入院治療し、院内学級に入りました。その時、学級のみんが色々なメッセージや励ましの言葉で、回復に向かい一緒に卒業式を迎えることができました。今は、警察官になってると聞いています。
0	0			0	0		
		0	0			0	0